

保健だより

1年生
保健委員

おしれ障害とは

おしゃれをするうえで「身体などに障害が起きることです。様々なおしれ障害について言図べてまとめました。

カラーの発色が悪くなる。パーマ薬剤は髪内部のタンパク質が硬くなると言われています。髪内部のタンパク質が固まるとカラーの効果が弱まり発色が悪い。



パーマです。

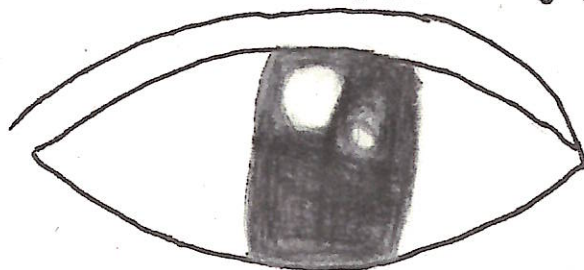
1年生 保健委員

1年生 代表 夏山蓮希
副代表 金得志音
福田航大 竹森奏馬
島津いちか 清水海来

令和6年2月21日発行

アイフク

アイフクを使いすぎると、まぶたが下に伸びてしまうことがあります。アイフクはつけているときもその接着剤の成分が肌に合わない場合、刺激を受けてまぶたに負担がかかります。またアイフクをはずす時も大きなダメージがかかっています。まぶたについての接着剤を無理やりはがすと、まぶたが引き伸ばされてしまいます。



ピアス

ピアスを開けた場所へ細菌が感染して炎症を起こします。このような状態になるとピアスホールの部分に痛みを生じたり、ピアスホールの周囲が熱をもって腫れたりピアスホールから膿が出てきたりします。



カラー

障害の中で一番多いのは皮膚のかぶれです。カラー剤に含まれる主成分は比較的かぶれやすく、症状は様々です。症状の個人差がかなりあり、子供のころからカラー剤を使用すると大人になってから発症する危険性があります。カラー剤の多くは、子どもに使用するという前提ではないため、子どもの使用に注意が必要です。



カラコンによるおしれ障害

△眼障害や病気を引き起こしやすくなる△

カラコンを使うことで起こる障害

- ・角膜上皮浮腫
- ・びまん性表層角膜炎
- ・角膜上皮剥離など

眼障害を引き起こす問題点

- ・レンズ自体の品質
- ・レンズケア等使用に関する意識
- ・カラコン依存症の問題

の3つの要素があると考えられる。



メイク

メイクをするのは大人は使くて子供はダメなんですか？

それは、肌が発達途中でデリケートだからです。アレルギー性接触皮膚炎は「獲得免疫」と言って一度かぶれると一生かぶれることに。

子供に必要なのはメイクよりスキンケアです。